

# さっぽろっこ 読書プラン

とは？

「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、子どもたちの自主的な読書活動を進めるために策定された札幌市の計画です。計画期間は平成27年度から31年度までの5年間です。

この計画では、読書の楽しさや大切さがみなさんに認識され、子どもが自主的に読書をする習慣を身に付けることを推進します。そして読書活動を通じて、自ら学び、自ら考え、自ら行動し、人生をより深く生きる力を育む環境づくりを進めていきます。

## 計画の基本目標

- 1 読書の楽しさにふれる
- 2 読書の大切さを知る
- 3 子どもの読書をみんなで支える

## 計画の基本方針

- 1 子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の充実
- 2 子どもの読書活動に関する普及・啓発
- 3 子どもの読書環境の充実



## どうして読書が大事ななの？

読書は私たちの人生に豊かさをもたらしてくれるもの。知識や教養を高めることはもちろん、読解力や表現力、思考力、想像力など多くの生きる力を身につけることができます。また、学ぶ楽しさや知る喜びを実感できることも、読書の素晴らしいところ。子どもたちの成長には欠かせないものといえるでしょう。



## 家庭で読書環境をつくるには

子どもたちに本を与えると、夢中になって読む姿が印象的です。本来、子どもたちの多くは本を読むことが大好きなのでしょう。このように楽しく本を読む習慣を作るためには、本が身近に感じられる家庭環境が大切です。

そのためには、まず家庭で読書を楽しむ機会を増やしましょう。子どもが幼い時期には、一緒に絵本を読んでみませんか。自分ひとりで読めるようになったら、読んだ本の感想やおすすめの本を家族で話し合ってもいいですね。

幼いころに家族と一緒に本を読んだ経験は、子どもにとって思い出深く、その後の読書習慣にも良い影響を与えてくれるはずです。読書を介したコミュニケーションを通じて、子どもの成長を見守っていきましょう。



## 主な施策

### 読書の楽しさにふれるために

- 保健センターで10か月児健診時に絵本を配布し、読み聞かせを行います。
- 図書館では乳幼児期の年齢に合わせたサービスプログラムを行います。また、幼稚園や保育園などの団体での利用を受け入れます。
- 図書館では子ども向け行事や図書館の使い方などの講座を行います。
- 学校では一斉読書を行います。
- 中学校の学校図書館に学校図書館司書を配置します。学校図書館司書一人が複数校を担当します。
- 学校の施設見学や調べ学習などでの図書館利用を進めるなど、学校の学習活動を支援します。

### 読書の大切さを知るために

- 子どもの発達段階に合わせた読書に関する取組を実施し、読書のきっかけづくりを行います。
- 家族みんなで読書をする楽しみを広めます。
- 子ども読書の日に図書館全館で特別行事を行います。子ども読書の日をPRし、読書の楽しみを広めます。
- 電子図書館の電子書籍を充実させ、スマートフォンやタブレット端末などを使った新しい形態の読書を進めていきます。
- 図書館のホームページに中学・高校生向けページを新設するなど、内容を充実させ、図書館や本に関する情報を発信していきます。

### 子どもの読書をみんなで支えるために

- 読み聞かせボランティアの研修を行います。
- 学校図書館の地域開放を進めます。
- (仮称)絵本図書館を設置します。
- 札幌の魅力モチーフとした絵本を公募して電子書籍化するさっぽろデジタル絵本事業を行います。
- 障がいのある子どもたちへの支援を行います。
- 学校図書館の計画的な図書整備を推進します。
- 図書館、幼稚園・保育園、学校など、関係機関・団体との連携・協力を推進します。